

平成 28 年度 第 2 回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会 議事録

1 日 時 平成 29 年 2 月 23 日（木曜日） 午後 2 時 20 分から 3 時 55 分まで

2 場 所 長野市民病院 2 階 市民健康ホール

3 出席者

（出席委員）

田中 榮司	委員長
小林 邦一	委員
畠山 悦子	委員
本道 多加子	委員

（委員以外の出席者）

池田 宇一	（地方独立行政法人長野市民病院理事長）
宗像 康博	（ 同 副理事長）
藤澤 和子	（ 同 理事）
篠原 邦彦	（ 同 理事）
市川 専一郎	（ 同 事務副部長）
渡辺 敏明	（ 同 企画財務課長）
福島 孝志	（ 同 総務人事課長）
小林 沙織	（ 同 企画財務課事務員）

（事務局）

田中 幸廣	（長野市保健福祉部長）
黒岩 章彦	（長野市保健福祉部医療事業課長）
西山 純一	（ 同 医療事業課長補佐）
村木 裕一郎	（ 同 医療事業課係長）

4 議 事

- （1）委員長選出
- （2）地方独立行政法人長野市民病院の業務実績評価方針（案）について
【資料 1】地方独立行政法人長野市民病院業務実績評価方針（案）
- （3）地方独立行政法人長野市民病院 平成 29 年度年度計画（案）について
【資料 2】地方独立行政法人長野市民病院平成 29 年度年度計画（案）
- （4）新公立病院改革プランについて
【資料 3】新公立病院改革ガイドラインの概要

5 その他

今後の予定

○ 開 会 午後 2 時 20 分

(事務局)

お待たせいたしました。

委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠に有難うございます。

本日は、小口委員及び岩野委員がご都合により欠席となっておりますが、地方独立行政法人長野市民病院評価委員会条例第 6 条第 2 項の規定で定めます定足数を満たしておりますので、ただいまから、平成 28 年度第 2 回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を開催させていただきます。

本日の会議につきましては、ご案内の時間より遅れて開催しておりますが、3 時半を目安として終了予定でございますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の委員会につきましては、公開で行い、議事録調整のため、録音させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

○ 新任委員紹介

(事務局)

続きまして、事務局から新たに評価委員にご就任いただきました委員をご紹介します。

(医療事業課長)

第 1 回の評価委員会でもご紹介させていただきましたが、改めて新任委員の紹介をさせていただきます。

本委員会の委員長を務められておりました池田修一委員が、一身上の都合により、平成 28 年 9 月 30 日をもって退任されました。

これに伴いまして、新たに国立大学法人信州大学医学部長の田中榮司先生に委員として加わっていただきましたのでご紹介申し上げます。

(事務局)

それでは、田中榮司委員ひとことご挨拶をお願いいたします。

(田中委員)

信州大学の田中でございます。

昨年 10 月 1 日から医学部長を拝命しております。

長野市民病院と言いますと、私は初代の古田院長や長田院長と同じ第二内科の出身でございますので、何となく親近感を持っております。よろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

○ 会議事項

(保健福祉部長)

委員の皆様方、お忙しいところお待たせいたしましたして申し訳ありませんでした。

それでは会議事項に入らせていただきます。

本来でありますと、評価委員会条例第6条第1項の規定に従い、小口委員長代理に議長として会議の進行をお願いするところではありますが、本日ご欠席でございますので、私の方で進めさせていただきます。

会議冒頭、医療事業課長からご説明申し上げましたとおり、池田委員長が退任されたことから、まず、欠員になっている委員長を選出したいと思います。

委員長は、委員の互選によるとなっておりますが、事務局案としましては、池田元委員長と同じ信州大学から就任いただいた田中委員が適任ではないかと思いますが、皆様いかがでしょうか。

(各委員)

<賛 同>

(保健福祉部長)

ありがとうございました。

それでは、田中委員には委員長に就任していただき、議長席へご移動をお願いいたします。

(田中委員長)

それでは、委員長を受けさせていただきます。

長野市民病院は、池田宇一さんが院長になられてガンガンやっているということをお聞きしておりますので、本日は途中経過となりますが、どのような状況かしっかり聞いていきたいと思っております。

よろしくお願いします。

(議長)

それでは、はじめに(2) 地方独立行政法人長野市民病院の業務実績評価方針(案)についてですが、この案については、前回の評価委員会でご審議いただいておりますが、改めて概要を事務局から説明願います。

(医療事業課長)

<資料1 説明>

(議長)

ありがとうございました。

前回の評価委員会では、特に修正等のご意見はありませんでしたが、改めて、何かご意見はございますでしょうか。

(議長)

大変分かり易い内容だと思いますが、私からひとつよろしいでしょうか。

5段階評価の「4計画を予定どおり実施している」と「3計画を概ね予定どおり実施している」の違いが今ひとつ明確ではないような感じがしますが、どうでしょうか。

(事務局)

地方独立行政法人の中期計画には、評価指標として目標値が設定されておりまして、これに基づき、「4」は目標値どおりということで、ほぼ100%達成の場合でありまして、「3」はそれ以下の80%未満のような場合を想定しております。

(議長)

95%ぐらいまでは「4」ですが、70、80%ですと「3」、それ以下の50%ぐらいですと「2」という感じですね。分かりました。

(小林委員)

確認ですが、これは1年ごとの年度評価と中期目標期間の3年間をまとめた中期目標期間評価の2種類あるということで、来年度に行うのは、年度評価のみで、3年後は、年度評価と中期目標期間評価の二つを行うということで良いですか。

(事務局)

そのとおりです。

(議長)

ほかに何かございますか。

無いようですので、この案を業務実績評価方針として決定いたします。

それでは、次に、(3) 地方独立行政法人長野市民病院平成29年度年度計画(案)についてですが、これは、地方独立行政法人長野市民病院から説明願います。

(市民病院)

<資料2説明>

(小林委員)

3ページの口腔ケア体制の機能強化のところですが、ここには「関連指標」は記載されていますが、「指標・目標」の設定がないのは何故でしょうか。

(市民病院)

中期計画の中で「指標・目標」として数値目標を設定していますが、目標は多岐に渡ってい

るため、代表的な目標に限って数値目標を設定しております。

(小林委員)

5 ページ(2)の指標である入院患者総合満足度ですが、平成 27 年度実績が 96.2%であるのに、平成 29 年度目標値が 95.0%と下降目標としている理由は何故でしょうか。

(市民病院)

満足度には年度ごとに波がありまして、ここには記載してありませんが、平成 28 年度実績が 95.1%であったこともあり、平成 29 年度は、平成 28 年度実績と同程度であります 95.0%を目標値とさせていただきました。

(小林委員)

若干のブレを考慮したということですね。分かりました。

次に、9 ページ 働きやすい職場環境づくり(2)の職員満足度の向上に関して、数値目標とは言いませんが、評価に係る何か尺度的なものがあつた方が良いと思いますが、いかがでしょうか。

(市民病院)

すべての職員を対象に2年に1度、職員満足度調査としてアンケートを実施していますが、これは職員の非常にデリケートな内容も含んでおり、また、改善ができるところと改善できないところがあることから、目標値として掲げることを控えたものです。

(小林委員)

医療現場においては、不満があると辞めていくという現状もあることから、満足度だけではなく、例えば、退職率なども評価の指標となり得ると思います。

(市民病院)

職員満足度調査も、これまでは項目選択式の調査票を主体として実施しておりましたが、今年度からは項目を少なくし、自由記載の箇所を増やすなど、改善しながら取り組んでおります。

(小林委員)

同じく、9 ページの経営基盤の確立の箇所の指標である経常収支比率ですが、平成 29 年度目標値が 103.4%、平成 30 年度目標値が 102.9%と、平成 30 年度より平成 29 年度の方が高いのは何故でしょうか。

(市民病院)

医業収益・運営費負担金等の収支バランスも踏まえた上で、毎年変化する医療情勢を考慮した結果、平成 30 年度は 102.9%という平成 29 年度より若干低い目標値となったものです。

(島山委員)

先程の働きやすい職場環境づくりと関連することですが、時間外勤務の管理やストレスマネジメントも重要でありますし、また、経営側が現場の意見を聴く場があれば職員のモチベーションの向上に繋がるのではないかと思います。

(市民病院)

今後は、各病棟と病院幹部側で意見を出し合っていける環境も整えていきたいと思っています。

(議長)

少し確認したいことがあります、よろしいでしょうか。

まず、今年度から土曜日の人間ドックも始められたそうですが、予約待ち解消の状況はいかがでしょうか。

(市民病院)

土曜ドックは、月に換算するとこれまでより 40 人多く受診できるようになり、予約待ちが約 500 件ですので、計算上は予約待ちが解消されることになります。しかしながら、さらに新たな申し込みがありますので、予約待ちが完全に解消されたわけではありませんが、一定の評価をいただいております。

一方、職員の負担が増加しておりますし、経費も増えていますので経営的にはプラスにはなっていないのが現状です。

(議長)

実施について、職員の反対はありませんでしたか。

(市民病院)

地方独立行政法人となったことにより、より市民のニーズに応えていきたいという職員の意識もあり、反対はありませんでした。

(議長)

5 ページに「治験センターを設置」とありますが、これに伴い倫理委員会やそれをサポートする薬剤師などの人員が必要になると思われますが、問題なく設置できたのでしょうか。

(市民病院)

倫理委員会は設置済みでありまして、また、信州大学薬剤部から推薦をいただいた方に薬剤部長と治験センター長に就任していただいております。

(議長)

修学資金貸与について、県内の各病院で行っており、うまくいっているところとうまくいっていないところがありますが、市民病院ではいかがでしょうか。また、市民病院で医師が足りてい

ない診療科の選択を条件としているとお聞きしましたが、そうなのでしょうか。

(市民病院)

修学資金貸与については、特に問題なく行っていますが、新専門医制度の導入に伴い、研修医を縛ることはやめたほうがいいということで、平成29年度から募集をやめることにしています。診療科の選択条件については、過去にはありましたが、今は条件を設けておりません。

(議長)

心臓血管外科開設について、これ以上長野市に開設する必要がないのではないかなど、いろいろな意見がありますが、市民病院のビジョンを教えてください。

(市民病院)

超高齢社会を迎え、脳と心臓の疾患が一番増えていく領域ですが、循環器内科の診療を行うための施設基準があり、心臓血管外科がないとできない治療が出てきてしまいます。また、長野市に心臓血管外科が多いという意見もありますが、各病院からいつ医師が引き揚げてしまうか分からない状況でもありますので、病院間で緊急時や手が足りない場合など連携しながらやっていきたいと考えています。

(議長)

これからの医療情勢を踏まえますと、張り合うだけではなく、協調も必要だと思いますので、お聞きしました。

(小林委員)

先程の経常収支比率の関係ですが、病院ががんばって運営を行っても、地方公共団体が地方独立行政法人へ毎年交付する運営費負担金額が減額されて、前年度と比べて比率が下がってしまうのは、よろしくないと思います。中期計画期間の3年間は同じ金額として、病院の努力が反映するようにするべきでないでしょうか。

(事務局)

運営費負担金の算出基準は、中期計画期間の3年間は同じとしております。

算出方法は、収支の不足分とするのではなく、例えば単価に人数を掛けるなど、一定の基準を設けて算出しておりますので、経営が良くなったからと言って、運営費負担金を減額するということはございません。

中期計画期間中は同じ物差しで算定を行い、次期中期計画策定の際には、改めて算定基準を見直すこととなります。

(本道委員)

これは、要望になりますが、情報提供コーナーの突き当たりに食事のできるスペースがあるの

ですが、そのスペースに行くには段差があるため、車椅子の方などが利用しづらい状況です。
段差解消のため、スロープを設けていただけると大変有り難いです。

(市民病院)

ご意見は承知いたしました。

早速対応を検討させていただきます。有難うございました。

(議長)

ほかに何かございますか。無ければ、次に（４）新公立病院改革プランですが、事務局から説明願います。

(医療事業課長)

<資料３説明>

(議長)

地方独立行政法人の場合は、中期計画を策定していることから、改めて改革プランは策定しなくて良いということですね。

何かご意見等ございますか。

(議長)

ほかに全体を通して何かございますか。無いようですね。

それでは、以上をもちまして、本日の会議事項は、すべて終了しました。

ありがとうございました。

○ その他

(事務局)

どうもありがとうございました。

ここで、委員の皆様には、評価委員会委員の任期について、ご説明させていただきます。

現在の委員の皆様には、平成 27 年 5 月 19 日にご着任いただきまして、任期は平成 29 年 5 月 18 日までとなっております。

今のところ、任期中の評価委員会は今回の委員会の開催で最後とさせていただく予定でございます。

なお、新体制については現在白紙の状態でございますが、年度内を目途に人選を進める中で、お力添えをいただくこともあろうかと思いますが、お含みおきくださいますようお願い申し上げます。

また、委員さんの所属団体や推薦団体様の方へは、別途お知らせさせていただきたいと考えております。

それでは最後に田中保健福祉部長より委員の皆様にご挨拶を申し上げます。

(保健福祉部長)

本日は、本年度最後の評価委員会でありますとともに、委員の皆様の任期中最後の評価委員会となりますことから、私から一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様には、2年間の任期でご就任いただきまして、昨年度は、地方独立行政法人長野市民病院の設立に向けた中期目標や中期計画を中心にご審議をいただき、意見書を提出していただきました。

おかげさまをもちまして、昨年4月1日に、無事地方独立行政法人に移行することができまして、間もなく1年になります。

また、本年度は、来年度から法人の業務実績評価を行っていただくための評価方針についてご審議いただきました。

委員の皆様方には、公私ともにお忙しい中、評価委員会にご出席いただき、審議を通じまして、一方ならぬご指導を賜り感謝申し上げます。

なお、新たな評価委員会の構成については、改めてご相談させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

最後に、委員の皆様の、今後のますますのご活躍、ご健勝をお祈り申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本当に、ありがとうございました。

○ 閉 会 午後3時55分

(事務局)

それでは、ただいまをもちまして、平成28年度第2回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を閉会致します。

どうも有難うございました。